

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

令和2年度

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆外部評価

外部評価（地域かかわりシート①）・・・・（地①-1～3）

外部評価（地域かかわりシート②）・・・・（地②-1～6）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年11月9日(月)(17:30~19:30)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 湯川・石井・中川正・古山・林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	7人	4人	3人	14人

前回の改善計画
開始前に、見学やお試し利用の機会を設けて、小規模の利用や機能を知ってもらい初期の関わりをしやすいとする。家族と現場職員が会える機会を作っているような時間、場を検討する。

前回の改善計画に対する取組み結果
意識してできていると思うが、コロナの影響で機会は少ない。登録人数が増えているので、少しずつ作れている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	8	3	0	14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	10	2	0	14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	9	2	0	14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	9	1	2	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
②④は本人の思いを聞きながらゆっくり対応している。①ケアマネから状況、状態などをミーティングや会議、資料を基に共有している。③お話し利用や顔合わせ、説明の為の訪問を行うようにした。慣れていない時期には不安を抱かないようできる限り声掛けを行った。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
情報やニーズの伝達ができているのか不安はあると感じる職員と、利用者の情報が把握できていないと感じている職員がある。家族と職員が会える機会が限定的であり作れていない。家族が必要としている支援でも本人が嫌がることもあり、ご本人に納得頂けない場合がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
人と関わる事が大事なので、チームとして受け入れるために会って話すようにする。小規模の普段の様子をタブレットで見せるなど工夫し「ここに来よう」と思えるきっかけを作る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年11月9日(月)(17:30~19:30)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 湯川・石井・中川正・古山・林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	6人	1人	14人

前回の改善計画	ゴールはケアプランの6か月目標とし、出来る限り「～したい」を増やし、実現するために対話し、また表情など些細な変化もくみ取り、都度共有できるように報告をする。
前回の改善計画に対する取組み結果	共有するための報告はできた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	1	5	8	0	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	5	7	0	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	7	7	0	14
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	6	5	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること なるべく「～したい」と思っておられる事を実践し安心に繋げている。全体を把握し、状態状況に合わせて、情報共有しながら一人ひとりの利用者に配慮している。支援計画がいつでも確認できるようになっている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 本人の目標やゴールをしっかり把握できていない現状と真の「～したい」が見極められていない。十人十色で時間の余裕をもった支援ができていない。 「～したい」が現実的に困難で対応できない事もある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 目の前だけに寄り添うのではなく、「本人の目標(ゴール)」を全員が理解し行動する。(①をクリアする。)
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年11月9日(月)(17:30~19:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 湯川・石井・中川正・古山・林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	4人	6人	4人	14人

前回の改善計画	センター方式シートの中から適切な物を選定し、活用。以前の暮らしや声にならない思いを文章化して日常支援に対応する。
前回の改善計画に対する取組み結果	以前の暮らしは、拾えていないが現状の暮らしを支援できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	3	10	1	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	10	2	0	14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	9	3	0	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	9	1	0	14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	11	2	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること スタッフ間でケース会議や、全体会議、日々のミーティングで共有し、変化に対して即時的に柔軟な対応はできている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること センター方式のシートを抜粋し適宜記入できるようにファイリングしたが、あまり情報が集まっていない。以前の暮らし方で分からない事が多いが、独居の方で、ご本人に聞きく事で不安になったりする方もあり一概に聞けばよいというものでもないため把握は困難である。 答えがほしいのではなく、不満をきいてほしいなどその時々の方々の思いに対応しきれていない時がある。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) その人から出る言葉を、沢山拾うために、1つのシートに落とし込んでいく。(センター方式のC-1-2のシートの充実を図る。)
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年11月13日(金)(17:30~19:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 岩崎・湯川・中川雄・中川正・中島・古山・林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	9人	3人	14人

前回の改善計画
センター方式シートの中から適切に活用できる物を選択し、地域での暮らしを落とし込み、その方にとって何が必要な地域資源なのかを情報収集し、把握に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果
センター方式のシートを活用しきれなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	7	7	0	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	8	5	0	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	6	8	0	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	5	8	1	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	昨年に比べてご本人の生活リズムはわかってきた。病院受診等のご家族にお願いし、ご本人の状態把握をしてもらうように促し、本人との関係が途切れないようにしている。 生活スタイルや人間関係を理解しようとし、なるべく崩さないよう支援し、地域力はなるべく生かそうとしている。利用者の安全な生活を支援している。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	利用時間以外に本人がどのように過ごしているかは不明な事が多く、知ろうとしても、難しい点がある。今の生活に必要な地域資源は判っているが、もっと生活が豊かになるための資源活用はまだできていない。民生委員や資源の把握ができていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	その人らしい生活を尊重し安全に、押し付けにならない 「おせっかいと、放置の間」の支援を行う。 A-4とC-1-2を一本化して、一人につき最低3個落とし込む

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年11月13日(金)(17:30~19:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 岩崎・湯川・中川雄・中川正・中島・古山・林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	6人	5人	3人	14人

前回の改善計画
現在関わりのある利用者の地域の方にかたぎはらとの関わりを伝え、電話番号等の書いたものをお渡しし、施設を知ってもらえるようにする。
多様性のある柔軟な支援に幅を持たせることができるように、地域資源を知る

前回の改善計画に対する取組み結果
施設の名刺を作り、利用者のお住まいの近隣の方渡すことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	7	6	0	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	9	2	0	14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	4	9	1	0	14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	10	1	0	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
一人ひとりの日々の情報は記録等をしっかり読み、適宜介入し対応できている。施設だけで抱え込まないようにしている。施設の名刺も作り渡せている。ニーズに応じた柔軟なサービス提供ができている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
登録数が増えてきたことで、ニーズに応じられるのか不安がある。地域資源をまだまだ知らない。ご本人ができることまで支援していることがある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
本人が納得するような言い方で信頼関係を築き、自立支援につなげる。
「小規模に来てよかったと思う」施設「あそこいやや」と思わせない

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年11月13日(金) (17:30~19:30)

6. 連携・協働

メンバー 岩崎・湯川・中川雄・中川正・中島・古山・林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	1人	3人	10人	14人

前回の改善計画
地域でのイベントに積極的に参加する。町内会を知る。 虹の会の活動への参加を促進する。 他事業所会議にケアマネ以外も参加促進する
前回の改善計画に対する取組み結果
コロナウイルスの影響でイベントがなかった。 会議も少人数と制限があり、出られなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等)の他事業所との会議を行っていますか?	2	7	0	5	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	5	2	5	14
②	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	1	2	11	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	1	2	11	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	担当者会議や他事業所、医療機関と話す機会はある。 再開されている会議には代表者になるが参加できている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	新型コロナウイルスのため、イベント中止や自粛で、ほとんどなくなったのでほぼ参加できなかった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
(洛西ケーブルテレビの活用) 保育園の来所を促す。 手作りの物を渡せる関係づくり 例) Yさんの箱作り 子供は自分のできることなどを見てもらえる(披露)ことが楽しみなので、ビデオレターなど繋がりを作る。例) 榎原児童館はけん玉が流行っているのでそれをビデオでとって利用者に見てもらい、応援メッセージを返す	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年11月13日(金) (17:30~19:30)

7. 運営

メンバー 岩崎・湯川・中川雄・中川正・中島・古山・林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	4人	7人	14人

前回の改善計画	ケアマネ以外の職員も地域ケア会議の参加を促進し、地域でのイベントごとなどを教えてもらう。地域包括支援センターに地域についての情報を研修として願います。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナウイルスの影響で、機会を持つこともできず包括センターとの連携はできなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	10	2	2	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	10	2	0	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	7	3	4	14
③	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	0	3	7	4	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 定例会議で在り方、やり方の意見は言えている。 昨年に引き続き、お月見法話は協働できている。 運営推進会議を通して地域の意見は反映している。 苦情や意見に向き合い、職員で共有し話し合い業務や対応の見直しに繋がり、改善の方向に向かっている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 積極的な地域との協働ができておらず、苦情や意見も出ることがなく、反映できていない。 地域との意見交換や取り組み作りができていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 日々の業務をきちんと遂行することが、大切で、苦情に対して真摯に向き合う。 子どもとのつながりを作る。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年11月27日(金)(17:30~19:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 古山・中島・湯川・石井・林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	5人	1人	13人

前回の改善計画	研修の機会、情報提供、年度研修計画をより具体的に立てる。
前回の改善計画に対する取組み結果	外部研修が中止になる事が多く、機会があまり持てなかった。 内部研修はできる範囲で行えた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	3	5	5	1	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	7	5	2	14
③	地域連絡会に参加していますか	0	3	4	7	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	10	1	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること コロナ禍で出来る限りの方法で、研修の機会を設けて実施、参加している。 事故報告や記録を確認し、スタッフ全員でリスクマネジメントに取り組んでいる。 リスクマネジメント委員会や業務改善委員会など会議でも改善に取り組んでいる。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること コロナの影響で連絡会や外部研修が中止になった。 担当職員ではないため、地域連絡会には参加できていない。 日常業務に追われスキルアップの研修に参加できていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) Zoomやウェブでの研修を取り入れる。 個々が習得したことや理解したことを人に伝える事が出来ること大切なので、復命伝達研修を積極的に行う。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年11月27日(木) (17:30~19:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 古山・中島・湯川・石井・林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	10人	2人	0人	14人

前回の改善計画
定期的にプライバシーについて振り返りの場や身体拘束の研修を行い、常に意識できるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
身体拘束の研修も行い、意識できるようにしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	11	3	0	0	14
②	虐待は行われていない	11	3	0	0	14
③	プライバシーが守られている	2	11	0	1	14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	8	3	1	14
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	9	2	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束に対する意識をもって、予防に努め、研修も行っている。 人権やプライバシーも意識している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
成年後見制度が必要と思われる方に活用ができていない。 大きな声で情報共有していることがある。 薬袋を落としたり、メモを落とすなどしたことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
大声で伝達をしない。 個人情報の取り扱いの意識などを個々でルールとしていることなどを情報交換し、意識付ける。 プチミーティングで時々注意喚起を促す日を作り、常に意識できるような環境を作る。	

外部評価 地域かかわりシート①

- 外部評価（地域かかわりシート①）は、A～Fまでの6項目となります
- 項目Aについては「事業所自己評価」をお読みいただき、適当と思われる箇所に☑を記入ください。わかりにくい場合は、運営推進会議当日に事業者から説明がありますので、空欄のまま持参し、当日記入いただいても結構です。
- B～Fの項目については、当日までに下記チェック項目の適当と思われる箇所に☑を記入し、運営推進会議当日に持参してください。
- 当日は、運営推進会議メンバーの記入したチェック箇所を集計しながら、ご意見をいただく予定です。
- 下記チェックに基づき、当日お聞きしたい内容は、各項目の「できている点」「できていない点」「次回までの具体的な改善計画」の3点です。
- 地域かかわりシートへの皆様のご意見は、事業所の質の向上につながり、皆様の地域にとって必要な拠点となるために大変重要です。事業所を育て、認知症になっても、介護が必要となっても、安心して暮らし続けることができる町をともにつくるために、ご理解、ご協力をお願いします。

A. 事業所自己評価の確認（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤スタッフ全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？ ※常勤とは週32時間以上勤務の職員（正規・嘱託・臨時職の別ではない）	3	0	0
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されて実施していることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	3	0	0
3	前回の改善計画に対して、具体的な取組みが行われていましたか？	3	0	0
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	3	0	0

B. 事業所のしつらえ・環境（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取り組んでいましたか？ 【前回の改善計画】 玄関が地域の方に分かりづらいため、センター北側、西側のスペース（窓や外壁等）を工夫して、施設がこの場所にある事をアピールする。	3	0	0
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	3	0	0
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	3	0	0
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	3	0	0
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	3	0	0

C. 事業所と地域のかかわり（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3	0	0
	【前回の改善計画】 玄関が地域の方に分かりづらいため、センター北側、西側のスペース（窓や外壁等）を工夫して、施設がこの場所にある事をアピールする			
1	職員はあいさつできていますか？	3	0	0
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	3	0	0
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	3	0	0
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	0	2	1

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	0	2	1
	【前回の改善計画】 すこやかサロンや包括センターのイベントなどに参加する。			
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	3	0	0
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	1	0	2
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	0	2	1
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	2	0	1

E. 運営推進会議を活かした取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ 【前回の改善計画】 小規模の活動を知ってもらえる為にはどのような催しをしたら良いのかを、運営推進会議で、案を頂き、それらを企画、実施につなげられるようにしていきたく。	3	0	0
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	3	0	0
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	2	0	1
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	3	0	0
4	運営推進会議で出した意見を、改善につなげていますか？	3	0	0

F. 事業所の防災・災害対策（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ 【前回の改善計画】 施設で防災訓練をする時は、ご近所にお知らせを配布する。 地域の防災訓練に参加する。 土砂災害等発生時に、近隣の方が施設に求めることなどを聞く意見交換会の開催を検討していきたい。	3	0	0
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	3	0	0
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	0	2	1
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	0	3	0
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	2	0	1

以上で終了です。ありがとうございました。

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	3	0	0
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	3	0	0
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	3	0	0
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	3	0	0

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

特になし

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

特になし

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

特になし

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

今年はずこやかサロンも開催が少なく、また他の方皆さんを呼ぶことはできなかった。
不特定の参加を募ることは厳しい。
オンラインサロンも開催しているところもある。

【改善計画】※後日記入

運営推進会議や事業所内の会議において、「オンラインでできる『〇〇して欲しい事』」の意見を出し合いその内容を検討し、年度内で1回実施できるようにする。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3	0	0
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	3	0	0
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	3	0	0
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	3	0	0
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	3	0	0

【上記5つのチェック項目に関する意見】

特になし

【前回の改善計画】

特になし

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

石垣に看板設置は有料ならできるだろうけど

【今回の改善計画】※後日記入

法人と連携し、石垣に実現可能な内容を検討する。
施設内から外部が見える場所から施設をアプローチをする。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3	0	0
1	職員はあいさつできていますか？	3	0	0
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	3	0	0
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	3	0	0
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	0	2	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

特になし

【前回の改善計画】

Bと同様

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

B同様

【改善計画】※後日記入

B同様

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	1	1	1
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	3	0	0
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	1	0	2
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	0	2	1
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	2	0	1

<p>【上記5つのチェック項目に関する意見】</p> <p>なし</p>
<p>【前回の改善計画】</p> <p>なし</p>
<p>【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】</p> <p>今年はどこも関わりを持つことができなかった。 包括も、地域ケア会議もカフェも開催できなかった。 次年度は少しずつ始めていき、6、7月ごろにオンラインを使うための研修や、秋頃にはウォーキングを企画している。</p>
<p>【改善計画】※後日記入</p> <p>開催される研修や行事への参加促進に努める。</p>

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3	0	0
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	3	0	0
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	2	0	1
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	3	0	0
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	3	0	0

【上記5つのチェック項目に関する意見】

特になし

【前回の改善計画】

特になし

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

地域との関わりを持つにあたり、事業所がイベントや作品展などを開催して発信したらいいと思う。
 地域住民としての代表ならば個別案件、内部事業は不要なので、会議の内容を考えてほしい。年6回は参加が厳しい。

【改善計画】※後日記入

地域との関わりを念頭に、作品展の開催(内容、日程等)および開催方法(来所開催、オンライン開催、紙面のお知らせ等)を検討し、地域へ施設での生活を発信する。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3	0	0
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	3	0	0
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	0	2	1
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	0	3	0
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	2	0	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

特になし

【前回の改善計画】

特になし

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

土砂災害などは、施設の上の階へ上がる方が安全。
地域の防災訓練はいろんな人を呼んでおらず、地域の役員の方を対象としている
近所の人も DS も今年中止されていた。

【改善計画】※後日記入

消防訓練の開催のお知らせを引き続き行い、状況によって地域の方へ消火訓練等可能な訓練参加を呼び掛ける。
防災に関して近隣施設と意見交換、情報共有をオンラインで企画し、地域の方との協力体制の構築を共通認識できるように働きかける。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	京都市社会福祉協議会	代表者	小石玖三主	法人・事業所の特徴	施設理念の「笑顔とぬくもりを大切に、寄り添いながら、その人らしい暮らしを支えます」に加え「かんきょうを変えず、たのしみながら、ぎょうじに参加し、はつらつと、らしい生活のお手伝いをします」の小規模多機能のコンセプトを意識しながら、在宅で暮らし続けていけるように、職員間の話し合いを大切にして、適宜必要な情報を正しく共有できるように、そして、その時々に合わせて援助を心がけています。
事業所名	小規模多機能かたぎはら	管理者	林尚子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	2人	0人	0人	1人	0人	5人	2人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・すこやかサロンに引き続き参加する。 ・各所で開催される勉強会に参加する。 	<p>コロナウイルスの影響で参加できないことが多かったが、開催された勉強会には参加した。</p>	<p>すこやかサロンの回数少ないが開催している。みんなを呼ぶことはできない。不定期の参加は厳しい。オンラインサロンも開催されている。</p>	<p>運営推進会議や事業所内の会議において、「オンラインでできる『〇〇して欲しい事』」の意見を出し合いその内容を検討し、年度内で1回実施できるようにする。</p>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関が地域の方にわかりづらいため、センター北側、西側のスペース(窓や外壁等)を工夫して、施設がこの場所にあることをアピールする。 	<p>現状実施できていないが、三ノ宮街道バス停前の石垣に看板のようなものがつけられないか検討。室内の窓へ利用者の作品等を貼るなど試みて行こうと思っています。</p>	<p>看板も有料ならできるだろうし、目立つだろうが。</p>	<p>法人と連携し、石垣に実現可能な内容を検討する。施設内から外部が見える場所から施設をアプローチをする。</p>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関が地域の方にわかりづらいため、センター北側、西側のスペース(窓や外壁等)を工夫して、施設がこの場所にあることをアピールする。 	<p>現状実施できていないが、三ノ宮街道バス停前の石垣に看板のようなものがつけられないか検討。室内の窓へ利用者の作品等を貼るなど試みて行こうと思っています。</p>	<p>上記同様</p>	<p>上記同様</p>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・すこやかサロンや包括のイベントなどに参加する。 	<p>コロナウイルスの影響でイベントがなく、参加できなかった。</p>	<p>今年ではできなかった。地域ケア会議もカフェも開催できていない。6月7月にオンライン研修を検討している。秋頃にウォーキングを企画中。</p>	<p>開催される研修や行事への参加促進に努める。</p>

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模の活動を知ってもらえる為にはどのような催しをしたらいいかを、運営推進会議で、案を頂き、それらを企画、実施に繋げられるようにしていきたい。 	<p>コロナウイルスの影響で出来ない事が多く、実施できるような企画がたてられなかった。</p>	<p>上記同様</p>	<p>地域との関わりを念頭に、作品展の開催(内容、日程等)および開催方法(来所開催、オンライン開催、紙面のお知らせ等)を検討し、地域へ施設での生活を発信する。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設で防災訓練をする時は、ご近所にお知らせを配布する。 ・地域の防災訓練に参加する。 ・土砂災害等発生時に、近隣の方が施設に求める事など聞く意見交換会の開催を検討していきたい。 	<p>年 2 回の訓練前にご近所に訓練のお知らせを配布した。 地域の訓練はまだ参加できていない。</p>	<p>土砂災害などは、個々の場合上の階に上がる方が安全。 地域の防災訓練はいろんな人を呼んでおらず役員を対象としている。近所の人も DS もやってたけど今年中止していた。</p>	<p>消防訓練の開催のお知らせを引き続き行い、状況によって地域の方へ消火訓練等可能な訓練参加を呼び掛ける。 防災に関して近隣施設と意見交換、情報共有をオンラインで企画し、地域の方との協力体制の構築を共通認識できるように働きかける。</p>